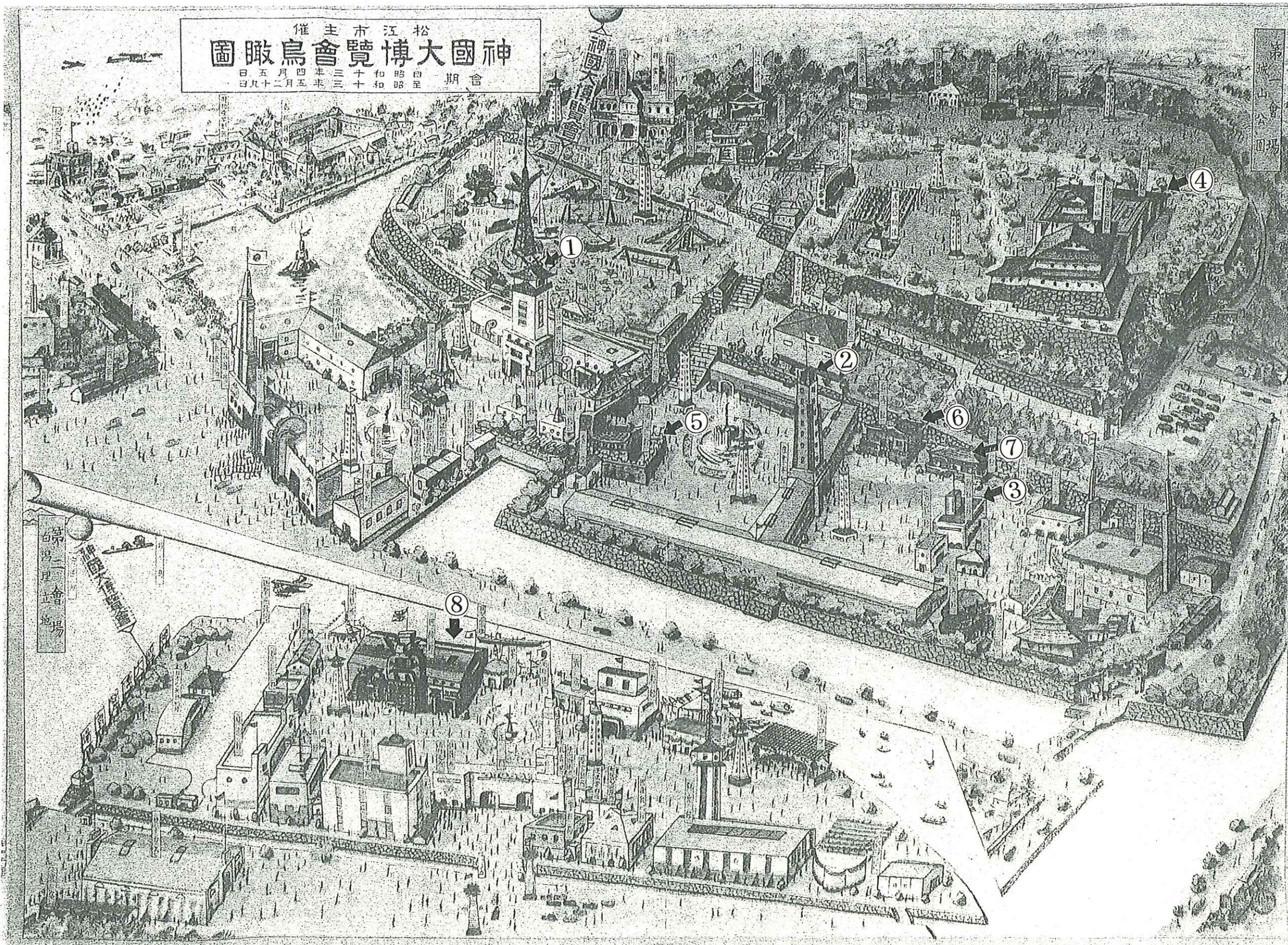


松江市主催 神國大博覧會覽會鳥瞰圖

日五月四年三十和昭自 期會
日九十二月五年三十和昭至

第一會場
第二會場



①神國館 古代文化の發祥地であり

日本建國に至大の關係をもつ神國出雲の神話伝説を資料に日本建國の覇業を語る大モデオラマ絵巻を展示し尚出雲大社、熊野大社、美保神社其の他県下各神社所蔵の宝物類、神社、デオラマ、考古品等を陳列する。

②産業本館 近時海外市場に断然世界列國を抑制して隆々たる進展をなしつつある日本商品、輸入防遏の有料國産品を初め全国各府県、樺太、南洋庁等の生産品を興味深く陳列し世界に誇る國産品の真価と其の急激なる發展の跡を如実に示して國民的自信を強めると共に今後の我國商品の躍進發展に拍車を加へ且つ此等出品物が売却せられ居乍らにして全國優良物産が思ふがまゝに求め得られ將來の發展に重大な示唆を与へるのである。

③島根県館(鳥瞰圖では島根館) 優秀にして豊富なる島根県下各地方の生産品を網羅陳列した特設館で産業島根の全貌を紹介して剩す所ない。

④神代舞臺館(鳥瞰圖では神能館) 石見、出雲兩國に於ける古來伝統の神能を紹介する特設物で神國博に最も相応しい催物である。

⑤満洲館 満洲國特異なる建築物に伸び行く満洲の産業文化、交通等あらゆる実情を一室に陳列して友邦満洲國を正しく認識せしめ日滿両資源の握手を強調し兩國親善の促進と相互の啓蒙に資せしめる。

⑥台湾館 常夏の國台湾の風物、産業施設等を純台灣式建物内に展示し南方の生命線台湾の紹介宣伝に努めてゐる。

⑦朝鮮館 總督府の出品にかゝり朝鮮の産業、観光の両面を紹介宣伝して残す所なく建物も独特なる建築様式で場内に一段と光彩を添へる。

⑧國防館 世界に冠絶するわが陸海空軍の堂々たる実情を展示し軍事國防の知識思想を深く認識せしむると共に國民統後の備えと、其の活動とを説明し華國一致國難打破の決心を強化せしめる非常時躍進の行進譜である。

(出典)『松江市主催 神國大博覧會鳥瞰圖』(編著者、刊行年月日不明)。この鳥瞰圖は、松江市史料編纂室が青山家の所蔵史料調査中に発見したものである。内容からして、一九三六(昭和一一)年七月から翌年七月までの間に作成・刊行されたものと思われる。なお、①⑧の陳列館の説明は、鳥瞰圖の裏面にある「神國大博覧會の内容」から引用した。